



開会挨拶 TFC 連合会会長 吉岡会長 挨拶

わたくし TFC 連合会 会長を仰せ使っております吉岡 政弘と申します。
このような晴れやかな場所でお話ができることは、会長として誠に光栄でございます。

さて TFC 会はご存知のように 20 年前の 1988 年 1 月 16 日、不動産流通の近代化を目指して久留米の永野さん、大坪さん、大石さん、今村さんをはじめとする有志の皆さんのご尽力により正式に発足致しました。

(宅建・ファックス・キャプテン会) いわゆる TFC 会が久留米地場産業振興センター において発足した瞬間でした。

この小さな動きは、県境を越え佐賀県鳥栖市、佐賀、筑後、小郡・三井、柳川・大川、杵藤 へと発展し 160 社(平成 10 年度)へと拡大していきました。

当時は、このように大きくなるとは誰も予想していませんでしたが、いろいろな不動産グループや会が出来ては消えていく中において、TFC 会だけは今年で 20 年という節目を迎えることが出来ました。

その後、平成 10 年に TFC 会はキャプテンからインターネットでの検索システムへと転換し、これに伴い会員の皆様には大変なご苦勞をおかけしましたが、おかげさまで全国でもいち早く物件登録システムを確立することが出来ました。

そして、急速なネット社会の普及により、不動産情報サイトは星の数ほど誕生し、大手のサイトへ一極集中化が進んでいます。消費者も一体どの情報を信じてよいのか迷っています。

このような中で不動産業者としての存在価値を高めて行くこと自体が、我々会員にとっても消費者にとっても重要なことだと思われれます。

TFC 会では、単に表面的で終わりがちなインターネットの世界だけではなく、定例会、勉強会、懇親会など人と人とのつながりにより初めて生まれる信頼関係を大切にし、これらを両立させてきました。

このことが TFC 会を 20 年もの間、存続することが出来たのだと思います。

まるでデジタル時代に逆行することなのかもしれませんが、これは今後も続けていく必要があると思います。

現在、大手不動産業者の進出が相次ぎ、会員数確保も難しく、業界を取り巻く状況は 厳しいものがあります。

会員全員で力を合わせなければ、これからの時代を乗り切っていくのは困難だと思われま

最後に、20 周年を迎えるに当たり、私が書類を整理しておりましたら、TFC 連合会の 故西山前会長が在職中に体調を崩され提出されていた「会長職辞任願い」の中に、TFC 会への切なる思いが託されておりました。

その内容は、この度体調を崩し、思うに任せず不本意ながら辞任せざるをえませんが 「会員間の親睦を図り 各地区会員の増強を図り TFC 会の発展を図ること」これらのことを 心から願い、我々執行部と会員の皆様に託されました。

しかし、志半ばで辞任願いを出されてから わずか 1 ヶ月後の平成 12 年 2 月にこの世を去られました。

今ここに、故西山前会長のご遺志を心に刻み、今後の TFC 会の発展のため益々の努力を誓うものであります。

そして、本日まで出席いただいている、来賓の皆様、KTT の元スタッフの皆さん、関連取引業者の方々、TFC 会員の皆様そして、元会員の方・・・歴代の地区会長の方々、全て・・・皆様方のお陰があつて今日という日を迎え、式典を開催することができましたことを心より感謝する次第でございます。

本当にありがとうございました。

平成 20 年 1 月 22 日
TFC 連合会 会長 吉岡 政弘